

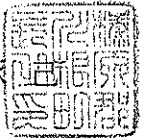


川地整第 21 号

平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

川根町長 又 平 琢



### 中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のありました標記の件に関しまして、別紙のとおり提出いたします。

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基本的な施設であり、防災面や緊急時の災害支援など極めて重要な役割を担っております。川根町のように山間部に集落が点在している地域では、生活に直結した道路の整備確保が、すなわち最大の住民福祉といっても過言ではありません。

道路整備は、国・県等により進めていただいておりますが、本町でも、隣接する市町との相互交流と地域の発展を図るための道路（農林道等）及び町内の生活関連道路の整備に力を注いでまいりました。

しかしながら、山間地域特有の急峻な地形であることから、国道 473 号及び主要地方道としての県道や、町道にいたるまで、全体的に幅員が狭く、対面交通（すれ違い）に支障をきたす箇所や、中央線のない道路がいまだに存在しております。

また道路は、地域間の交流の動脈として、通勤・通学等の日常生活に密着した社会資本としての有益性を持つとともに、交流人口を呼び込み、文化・経済の交流を促す基盤であり、地域住民の生活の向上・活性化を図るために一層の道路整備を推進する必要性があり、地域振興を図る上で、緊急かつ重要な課題となっています。

特に、大井川両岸に居住地域を持つ当町は、両岸地域の交流を深め地域の発展のために「橋梁」は、交通の大動脈として重要な役割を果たしております。昭和32年に完成した「駿遠橋」は、近年、通過車両の急激な増加、また通行車両の大型化等が進んだことにより、相対的に橋梁幅員が狭くなり、利用者にとって安全と円滑な交通確保が難しくなっております。また、完成以来50年近く経過していることから、東海地震や自然災害が発生し、落橋等が発生した場合、迂回路としての橋が、災害支援物資等が搬入される島田市方面は16キロ、上流部には6キロほど橋梁が無く、緊急時に迅

速な対応が図れないのではないかと不安を地域住民が抱いております。こうしたことから、既設橋梁の架け替えや新たな架橋も必要と考えており、早急な対応を強く望むところであります。

さらに、山間地域で生活する住民がいることにより、森林整備をはじめとした国土保全や環境問題にも取り組むことができ、都市部の人々に、安全でおいしい水を供給し、癒しの場も提供できるものと考えております。

こういったことから、国におかれましては、道路整備の重要性を深くご認識いただき、特に山間地域に光をあて、地域振興に深く関わる道路整備が円滑に推進できるよう、強くお願いするものであります。

いずれにいたしましても、中期的な計画の作成に当たっては、「道路」に対する認識を、産業・暮らし文化等の面から再認識するとともに、投資効率の算定方法の再検討を行うなど、地域格差の是正のためにも是非積極的に推進していただくようお願いいたします。